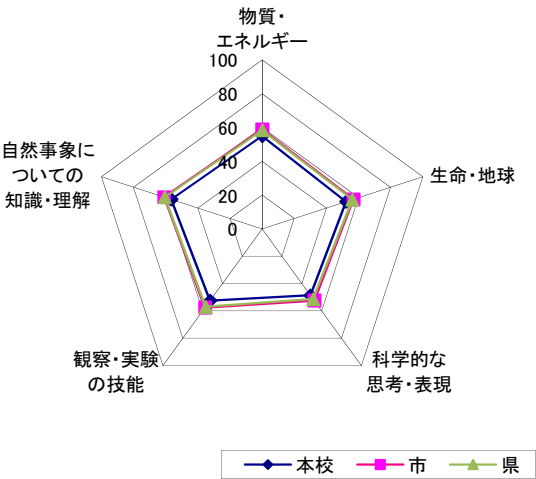


宇都宮市立宝木小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	55.0	59.0	58.3
	生命・地球	52.2	56.8	56.1
観点	科学的な思考・表現	48.6	52.5	51.4
	観察・実験の技能	52.5	57.6	57.0
	自然事象についての知識・理解	56.6	61.0	60.6



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○「空気と水の性質」の風船を入れて閉じ込めた空気を圧すときの風船の体積の変化を問う問題では、県平均を5.3ポイント上回っている。 ○「電気のはたらき」の光電池にモーターをとりつけた実験の結果を問う問題では、県平均を3.0ポイント上回っている。 ●「金属、水、空気と温度」の熱せられた水のあたため方を問う問題では、県平均を12.9ポイント、様々な形状の金属のあたため方を問う問題では、県平均を10.1ポイント下回っている。	・金属のあたため方や水のあたため方は、実生活の中で経験することがある内容であるため、普段の生活と結び付けながら話題にしていき、定着を図る。
生命・地球	○「天気のように」の1日の気温の変化のようすから天気を推測する問題では、県平均を3.7ポイント上回っている。 ○「月と星」の方位磁針の使い方を問う問題では、県平均を2.7ポイント上回っている。 ●「季節と生物」のツバメの活動のようすを問う問題では、県平均を9.1ポイント下回っている。 ●「月と星」の星座早見の持ち方や使い方を問う問題では、県平均を15.0ポイント下回っている。	・ツバメの活動のようすや星座早見については、実際に目にすることがあっても意識しなければ注意して見ることはない。折にふれて、ツバメなどの生き物の様子や星座を見よう、言葉かけを行ったり視聴覚教材を用いて復習を行ったりして、定着を図る。